

〔 阿蘇の灯 〕

2022度「水俣・熊本みらい基金」助成事業報告書

企画テーマ	学生村」 熊本地震後の集落活性と交流・継承
取り組み実施期間または日時	2022年10月1日～2023年9月30日(1年を通じた活動)

【取り組み目的】

東海大学生で結成された「阿蘇の灯」(あそのあかり)は、熊本地震をきっかけに、南阿蘇村や南阿蘇村黒川地区(「学生村」)への震災ボランティアや地域住民の方々への支援・交流活動を目的に発足した団体です。

震災以前、東海大学阿蘇キャンパスに通う学生の殆ど(約800名)が南阿蘇村黒川地区に住み、学生生活や農場実習、地域でのアルバイトやイベントなどで地区の一員として楽しく暮らしていました。

熊本地震本震では、震度7の地震を2回受けました。大きな揺れで活断層上の地区は甚大な被害を受け、大学や学生村のアパート・下宿、大家さんたちの住宅などは壊滅状態となり、学生の暮らしもなくなりました。震災から7年が経ち、現在のメンバーは熊本地震以前の暮らしや震災当時の南阿蘇村の被災状況を知らない世代になっています。

それでも、先輩からの震災の語り・交流・継承を通じて、地区や住民の方々への支援活動・交流イベントで地域との繋がりや活性化を促し、一人一人が防災意識を強く持つことで周りにはいる家族や友達を守ることができ、防災意識を持った人々を広げていくことを目指しています。

【取り組み内容と成果】

私たち、阿蘇の灯は先輩方からの震災時の体験などを話す語り部というものを今年で7年間続けてきました。今は熊本地震を体験していない世代が受け継いでやっています。震災を体験していなくても震災の時の傷跡とかを見て実際に目で見ることで学生が傷跡を風化させてはならないという思いから自らが進んで観光に来られたお客様等にお話したりSNSを通して発信を行ったりとすることで他の大学や高校の方から連絡を受け交流をする、熊本のテレビに出演させていただいたり阿蘇の灯が世に広まりつつあります。

〈 1年間の主な計画 〉

4月・新入生への継承活動、慰霊祭、黒川ウォーク→7月・地域での野菜作り→8月・地域での流しそうめん→9月・灯物語の準備→10月・「灯物語」→翌1月・黒川地区の「どんどや」など

※特に「灯物語」(あかりものがたり)では、学生村の暮らしを経験した先輩方からの想いを継いで、震災で亡くなった学生や住民さんへの鎮魂と今後の平穏な暮らしを願う大切なイベントです。南阿蘇村内の3つの小学校・1つの中学校の約700名のメッセージや、全国各地から集まったメッセージを地域住民やボランティアの方々と協力して約400基の三角灯籠に組み立て、地域の旧小学校グラウンドに平和の灯りをともします。

2023年は、11月12日（日）18時点灯予定です。

【備考欄】

2022年10月1日～2023年9月30日までの阿蘇の灯の活動の様子やスケジュールを載せてあります。また、証憑となる領収書も載せてあります。

10/23 灯物語準備



10/29 灯物語本番



1/8 どんとや



4 / 1 6 追悼式



4 / 2 3 黒川ウォーク



6/24 ご飯会



7/15 サツマイモ畑除草



8/5 流しそうめん

